

令和2年度第1回学術集会プログラム等検討委員会議事録

日時：令和2年7月20日(月)19時～

場所：Web (Zoom)

出席：根尾昌志(担当理事)、渡辺雅彦(委員長)、松山幸弘(理事長)、川口善治、高相晶士、種市洋、永島英樹、中村博亮、波呂浩孝、山田宏、稲見聡(オブザーバー)、大和雄(オブザーバー)、中野敦之(オブザーバー)、八木満(オブザーバー)

欠席：中村雅也

議事

報告事項

1. 前回議事録の確認(資料1)

全会一致で承認された。

2. 理事会報告(根尾担当理事)

第49回の準備状況の報告が理事会で行われた。JSR誌に関して、今後オンライン化され第50回記念大会までで冊子形式の抄録は終了となることが報告された。また本日から毎月ニュースレターが会員にメールで送付されることが報告された。メールアドレスがわからない会員のアドレスに関してアドレスの取得の推進を行いたい。

3. 第49回学術集会準備状況報告(松山幸弘次期会長)

9/7-9までオンサイトで学会を開催する予定である。現時点でキャンセルは事前登録の1割程度、発表者に関しても1割程度のキャンセルが発生している。協賛に関してはキャンセルは2社のみである。開催に際しては感染対策を徹底して開催する。具体的には入り口でのサーモグラフィでの体温測定や飲食の禁止の徹底、講演会場の数を増やし密を避けるなどの対策を行う(10会場から13会場に、中継も使用する)。機械展示はマニュアルに沿って安全に行う。ランチョンセミナーは縦に並べて会場を分けて行う。弁当は講演前に配布して、講演中は飲食禁止とする。懇親会・晩餐会は中止として代わりに音楽会や挨拶を行う。演者には急な欠演に備えて音声を録音したスライドをあらかじめ提出することなどで参加者数を確保する。

川口委員より質疑の対応に関して質問があり、大和オブザーバーより録音の発表に関してはシンポジウムなどはオンラインで、一般口演では後日演者にメールなどで質問する事などで対応する、との返答がなされた。

波呂委員より資金に関する質問があり、松山会長より通帳の確認を順次行っていて、現時点では大きな問題はないが、今後キャンセルがどの程度出るかは注視することが報告され

た。

4. 第 50 回学術集会準備状況報告（根尾昌志次々期会長）（資料 3）

根尾次々期会長からテーマに関して 50 回記念大会なので 歴代の会長の講演を行い、歴史を知ることをテーマとすることが報告された。教育研修講演も歴代会長を中心に講演を行い、脊椎脊髄病基礎講座なども予定している。外国の演者に関しては COVID19 次第となる。シンポジウムに関してはオリジナルな業績を残してきた日本の先生方によるレジェンドシンポジウムを予定している。その他、脳神経外科によるセッションやカダバーに関するもの、女性脊椎外科医のセッション、頸椎椎弓形成術の歴史、矢状面アライメントについて、近未来の手術室などのテーマを予定していることなどが報告された。

根尾次々期会長より COVID19 の状況が改善しない場合にポスターセッションに関して中止あるいは高得点のポスターに関して口演にする方法を検討していることも報告された。英語セッションに関しては現状では外国人を招待するのは困難ではないか考えられるが、国際委員会でもアジア人の招待等についての審議を依頼する事とした。

5. 第 51 回学術集会準備状況報告（八木満オブザーバー）

学会場に関してパシフィコ横浜ノースを予定していることが報告された。

6. その他

特になし

審議事項

1. 第 52 回学術集会について（種市洋会長） コンベンション会社の見積もり報告と選定

種市会長よりコングレと JCS の 2 社からの予算案に関して説明がなされた。予算総額は若干 JCS が高い。教育文化会館を会場に予定していたが COVID19 の影響で会場の準備が間に合わないため、札幌コンベンションセンターで行う予定である。演題数は 1,000 題程度の予定である。JCS は社内で各タスクに関してチームごとにわかれており、質が良いと思われる。他の学会でも実績がある。第 1 会場が少し小さめなので、第 1 会場でプレナリーセッションを行う場合、不足分は第 2 会場でビデオ上映などで対応する。予算に関してポストコロナで厳しいことを想定して 1 億 2500 万円程度を見積もっている。JCS とコングレで最終的に余剰金の額が異なるが、晚餐会の計上などに差があるため、実際の経費に JCS とコングレで差は大きくない事などが報告された。コングレに関しては波呂委員、大和委員より対応について情報の共有が不十分であったり、対応が遅い場面が見られたことが報告された。種市会長よりコングレの予算書の予算案に関してもやや実際と異なる部分があるように見られる。JCS に関しては予算案は正確な数値を提示している部分が多く熱

意が感じられることから、JCS を第一希望とする旨の発言があった。以上から全会一致で第 52 回学術集会のコンベンション会社に関して JCS とすることを理事会に上申することとなった。

2. 第 53 回学術集会について（渡辺雅彦会長）

開催場所に関してパシフィコ横浜で行う形で準備を進めることが報告された。

3. 第 54 回学術集会について（高相晶士会長）

開催場所に関して横浜と幕張で検討していることを行うことが報告された。

4. 次回委員会の日程調整

例年は専門医試験の時にやっているが、今年度は集会形式の試験が中止のために、別の開催形態で専門医試験の頃に予定することとなった。

5. その他

各学術集会におけるコンベンション会社とのやり取りについてはなるべく記録を残し、今後の学術集会運営に役立てるように申し送りを行うことが確認された。